

日本認知心理学会・日本認知科学会  
合同企画シンポジウム

## 心, モデル, データ: 心の理解をめぐる

企画者・司会: 川口潤(名古屋大学)

話題提供者:

戸田山和久(名古屋大学)

「心の諸科学のインターフェイス問題」

三輪和久(名古屋大学)

「研究アプローチのトライアングル: モデル・実験・システム」

茂木健一郎(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

ディスカッサント: 豊田弘司(奈良教育大学)

企画趣旨:

現在, 心を解明する手法として実験心理学的手法, モデル論的手法, 神経科学的手法など, さまざまな「ツール」が使える時代となっている。一方, これらのツールを用いた研究によって, 心のどの部分がどのように明らかになったのか, あるいはどの部分は明らかではないのかといった議論はあまりなされていない。本シンポジウムでは, 昨年のシンポジウム\*を拡張する形で, 意識, モデル, 理論といった, いわばメタレベルの心の問題に関するトピックについての話題提供を行うことによって, 心を理解するための目標と制約について再考してみたい。

\* 日本認知心理学会第3回大会 シンポジウム「心, モデル, データ: 心は本当にわかるのか」(企画: 川口潤)